

令和 7 年度使用

中学校用教科用図書研究資料（総評）

【社会（公民的分野）】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備考
2 東京書籍	<p>(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構成されており、単元を貫く探究課題を解決していく学習活動ができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、持続可能な社会の実現に向けた課題を意識する巻頭ページや社会に参画する態度を養う「18歳へのステップ」を設ける工夫が見られる。</p> <p>(3) 生徒にとっての分かりやすさについては、導入からまとめまでの学習の流れが分かりやすくデザインされており、学習のまとめでは、思考ツールを使って自分の思考を整理し、課題解決につなげる工夫が見られる。</p> <p>(4) 現代社会の課題について多面的・多角的に考え、自らの意見を基に議論する力を育むために、これまで身に付けた技能を活用する活動コーナーを設けるとともに、対話から他者の意見を取り入れ、自分の意見を調整する「みんなでチャレンジ」を設けるなど、対話的な活動につなげる工夫が見られる。</p>	<p>P 4</p> <p>巻頭 1 ～ 2 P138～139</p> <p>P 8 ～ 9 P32～35</p> <p>P29 P30～31</p>
17 教育出版	<p>(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、課題を捉え見通す導入ページ、追究する本時ページ、捉えなおし深める特設ページ、学習のまとめと表現ページになっており、見通し・振り返ることができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、「持続可能な社会に向けて」で持続可能な未来を意識させたり、巻末の「私の提案」で実社会の課題と向き合い探究させたりする工夫が見られる。</p> <p>(3) 生徒にとっての分かりやすさについては、各章を見通す導入ページや学習を振り返るページを設けて、課題を捉え、見通しを立てやすくすることで、学習内容の理解につなげる工夫が見られる。</p> <p>(4) 現代社会の課題について多面的・多角的に考え、自らの意見を基に議論する力を育むために、学習で身に付けさせたい技能や表現力を養う「公民の技！」を設けたり、ディベートやロールプレイ等、多様な表現活動に取り組ませる「TRY！」を設けたりするなど、対話的な活動につなげる工夫が見られる。</p>	<p>P 4 ～ 5</p> <p>P96～97 P232</p> <p>P13 P37</p> <p>P59 P112～113</p>

46 帝国書院	<p>(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、章・節・見開きごとに問いと振り返りを設け、学習した内容を積み重ねながら、章の問いを追究していくことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、巻頭で持続可能な社会の実現に向けた意識を高めたり、「未来に向けて」で未来の社会をつくる取組を確認できたりする工夫が見られる。</p> <p>(3) 生徒にとっての分かりやすさについては、章や単元に鮮明で読み取りやすい大判イラストや学習と直結する躍動感のある導入資料を多用し、学習内容の理解につなげる工夫が見られる。</p> <p>(4) 現代社会の課題について多面的・多角的に考え、自らの意見を基に議論する力を育むために、毎時間、対話から学習課題につなげる「対話アイコン」を設けたり、身近な課題を、多様な視点から合意形成に向けて議論する「アクティブ公民」を設けたりするなど、対話的な活動につなげる工夫が見られる。</p>	<p>巻頭 5 ～ 6</p> <p>巻頭 1 ～ 2 P214</p> <p>P 2 ～ 3 P 6</p> <p>P48 P166～167</p>
116 日本文教出版	<p>(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入ページ、本文ページ、問いを解決し学びをまとめ・ふり返るページとなっており、「見方・考え方」を働かせて課題を追究する学習活動ができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、「SDGsマーク」を用いて持続可能な開発目標との関連を図ったり、「明日に向かって」でより良い社会参画を促したりする工夫が見られる。</p> <p>(3) 生徒にとっての分かりやすさについては、イラストなどを活用し、見通しをもって学習に取り組める単元構成になっており、新しい事例や生徒が身近に考えられる事例を取り上げる工夫が見られる。</p> <p>(4) 現代社会の課題について多面的・多角的に考え、自らの意見を基に議論する力を育むために、身近なテーマから具体的な問いや事例を提示し、協働的な学びを促す「アクティビティ」を設けたり、社会の課題を考察・構想する「チャレンジ公民」を設けたりするなど、対話的な活動につなげる工夫が見られる。</p>	<p>P 4 ～ 5</p> <p>P59 P138～139</p> <p>P38～81 P158 P71</p> <p>P63 P218～219</p>

225 自由社	<p>(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入ページ、本文ページ、学習のまとめと発展のページとなっており、毎時間の学習内容について章末で重要語句を確認し、定着させる学習活動ができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、「日本人の価値観・感性」からSDGsについて考えたり、「やってみよう」で身近な事象と学習内容との関連を図ったりする工夫が見られる。</p> <p>(3) 生徒にとっての分かりやすさについては、イラストとともに章のタイトルや導入となるコメントを掲載したり、単元の最後に授業で押さえるべき重要な確認事項をまとめたりする工夫が見られる。</p> <p>(4) 現代社会の課題について多面的・多角的に考え、自らの意見を基に議論する力を育むために、対話を通して意見をまとめる「アクティブに深めよう」を設けたり、学びをもとに、課題解決の方法を自分なりに考察する「やってみよう」を設けたりするなど、対話的な活動につなげる工夫が見られる。</p>	<p>巻頭 viii～ix</p> <p>P213 P137</p> <p>P43 P22</p> <p>P118～119 P153</p>
---------	---	--